

じゃんぽ!



部屋の中では、楽器遊びをして演奏会を楽しんでいます。自分たちの好きな曲、知っている曲のリズムに合わせて、素敵な音楽が聴こえてきます。2人が3人、4人とどんどんと音楽隊は増え、音楽も盛り上がってきました。人数が増えるとリズムが合わせるのが難しくなっていきますが、子供たち同士で、「せーの…」とタイミングを合わせる声掛けをすると、揃っていきます。なんだか気持ちも揃っていきみたいで、演奏し終わると、互いに目を合わせ嬉しそうに笑っていました。

その中で、一人なかなか思うようにいかず寂しげな表情のAさん。すると、一緒に音楽隊をしていた子たちが、「どうするとAさんがリズムに合わせて弾けるのか」と考え始めました。「僕がやるのを観ながら真似してみよ。」「ゆっくりやってみようよ。」など子供たちがAさんのために一生懸命考え、働きかけます。そのかいあって、Aさんもコツを掴み、音楽隊の演奏が再開です。好きなように鳴らすだけでなく、リズムに合わせたり、友達の音を聞きながら鳴らしたりすることも楽しんでいます。



「かっぱ かっぱ…
 ばっか ばっか。」
 このトンネルをくぐると
 なんでも変身できちゃう!

「不思議なトンネルだから、いろんな色を塗ったほうがいいよ!」



『へんしんトンネル(作・絵 あきやまただし 金の星社)』の絵本を読むと、子供たちみんな、登場人物が変身していく様子を楽しみに、言葉を繰り返している姿があります。(例:かっぱ→ばっか馬になる)すると、今度は6月からずっと遊びに使い続けてきた、段ボールの家がトンネルに変身し、なつめ組の“へんしんトンネル”になりました。

「どんな色だといいいかな?」と尋ねてみると、自分の好きな色を答え、「全部混ぜちゃうの。」という意見だったので、みんなが使いたい色を混ぜてみるとどんな色になるのかを試してみることになりました。すると、なんだか泥のようなどんよりした色になり、みんなはびっくり。「明るくって楽しそうな色を、混ぜずに分けっこしながら塗ればいいんじゃない?」というBさんの意見を聞き、塗る場所を分けてみるときれいな虹色になりました。分からないことを試してみたり、どうするといいいのか考えを出し合いながら、劇ごっこの道具作りを楽しんでいます。

